

平成28年度

予算の概要 参考資料



学校法人愛知医科大学

平成28年度予算について (1/2)

予算コンセプト

- 大学でしかできない、大学で働いていてよかったと思える体制作りを推し進める。
- 充実した病院の機能を最大限に発揮し収益アップに繋げ、安定した財政基盤を構築する。

本学を取り巻く環境

- 消費税率10%の引き上げ(平成29年4月予定)
- 借入金の返済ピーク(平成29年度)
- 医学部の定員削減構想(平成32年度から)
- 厚生労働省の地域医療包括ケアシステム等の医療費抑制施策(平成37年度)

平成28年度予算について (2/2)

平成28年度予算の方針

- 既存の財政支出はゼロベースで事業項目の見直しと効率化を図る
- 事業活動収支予算ベースでは、特殊要素（新規減価償却費分他）を除き、黒字予算を成立
- 中長期的な観点に立った定量的な成果が見込める事業計画のみを重点事業として立案

事業計画の概況（1/4）

- ▶ 平成28年度予算編成方針を基に、特に重点的に取り組む事業は以下の通りです。

医学教育の国際標準化対策

- 「国際的な質保証」への対応から、世界で活躍できる医師養成のために、我が国の医学教育が国際基準を満たしているとの評価を受けることが必要。
- 本学では平成30年に予定する医学教育の国際基準の受審準備として、小人数で議論できる部屋を整備。協定病院の数を9から16に拡大するなどの対策を実施する。

事業計画の概況 (2/4)

診療報酬△1.03%マイナス改定

- 地域包括ケアシステムの推進と医療機能の分化・強化, 連携に関する視点
- 患者にとって安心・安全で納得できる効果的・効率的で質が高い医療を実現する視点
- 重点的な対応が求められる医療分野を充実する視点
- 効率化・適正化を通じて制度の持続可能性を高める視点

アクションプランを策定

- 質の高いがん医療の充実
- 地域医療連携の強化
- 救急患者受け入れ体制の強化
- 手術室・GICU運用の強化

事業計画の概況 (3/4)

関連病院の整備

- 高度急性期病院としての地域医療連携と教育機関としての側面において、いわゆる関連病院との連携を促進することが必須であり、そのためには医師の派遣要請に応えます。
- 関連病院の整備事業遂行についての詳細事項を審議していくに当たり、中心的役割を担う組織として、関連病院整備プロジェクトチーム(既編成)の活動を推進します。

事業計画の概況（4/4）

新病院等建設工事事業の内訳（2,391,025千円）

CD病棟改修及びAB病棟等解体工事（5月完成）	1,111,657千円
公共下水道敷設等工事費一部負担金	24,000千円
汚水等貯留槽改修工事費	36,605千円
大学南側新規取得用地造成事業 工事・管理費	297,683千円
バスロータリー上屋新設工事	265,141千円
アメニティ棟新設工事	419,558千円
立石池外周道路拡幅事業（平成29年度完成）	8,800千円
新病院ファシリティサービス事業	225,821千円
その他事務費等一般経費	1,760千円

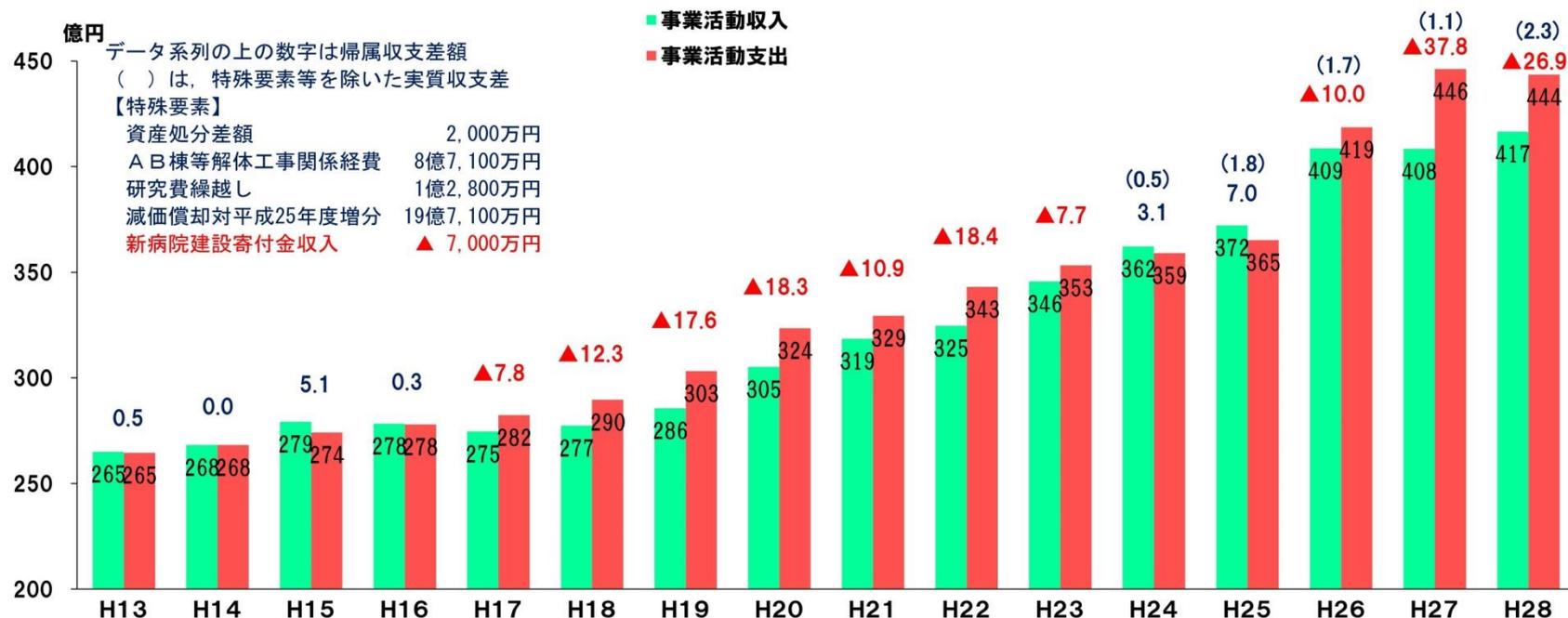
予算規模の推移

平成28年度の予算状況は、

事業活動収入 416億6,014万余円

事業活動支出 443億5,300万余円

となっており、事業活動収支差額は26億9,286万余円の支出超過となり赤字となっていますが、特殊要素等を除いた実質の収支額は2億2,700万円の黒字予算となっています。



※ 過年度の予算額は年度当初予算額である。

情報セキュリティを強化します。

標的型攻撃メール対応訓練



標的型攻撃メール対応訓練を実施し、教職員及び学生が標的型攻撃メールに対して適切に行動できるよう判断能力の向上を図ります。(4,362千円)

教育・研究環境を整備します



研究創出支援センターの設立

- 研究活動の開始から研究開発への昇華及び成果の社会還元までの支援体制を強化します。(13,877千円)



バイオバンクの設立

- がんについては組織や血清等を保管，研究対象として保存を希望する部署の検体についてもその質を保った保管管理，譲渡を行い，本学の臨床研究及び学外研究機関等への提供による医学研究の発展に努めます。(17,853千円)

教育・研究環境を再生・整備します

総合医学研究機構研究基盤設備再生事業

- 総合医学研究機構各部門(動物実験部門, 核医学実験部門, 高度研究機器部門)の基本的な機能を維持する機器や設備の多くを3年計画(2年目)で更新する。(30,421千円)

基礎科学実験室, 基礎科学・基礎医学実習室備品整備

- 基礎科学系の3か所, 基礎医学系5か所の実験, 実習室について昭和40年代の備品もあり老朽化が進んでいるため順次更新する。(3,104千円)

動物実験部門設備の高圧蒸気滅菌装置更新

- 昭和63年設置。20年以上経過し老朽化のため更新する。(15,000千円)
- ※H27年度に動物実験用の放射線照射装置とCT解析システムが導入され, 今後一層の施設利用が見込まれます。



教育・研究環境を整備します（シミュレーションセンター）

FunSim J シミュレーション基盤型教育セミナーの開催

- 本学シミュレーションセンター主催により，FunSimJシミュレーション基盤型教育セミナーを開催する。ハワイ大学のカリキュラムを日本語訳したものを使用し，同校教員を講師として招く。（3,262千円）



シミュレーションセンター1における可動間仕切壁設置

- シミュレーションセンター1は広さを生かした大規模な講義や実習に使用するとともに，分割することで小規模な講義を複数実施が可能となる。部屋の分割に移動式のパーティションで運用しているが，音漏れが大きく，スペース間での移動も支障があるため，遮音性の高い可動間仕切壁を設置する。（6,750千円）

医学教育の国際標準化に向けた取り組みを行います

医学部卒業生情報管理システム

- 医学部卒業生(3,800名)及び今後の卒業生の各種情報を医学部同窓会と連携して一元管理し、管理体制の強化を図る。(2,000千円)
※今後の国際認証受審に向けて本システムの整備は必要不可欠

国際認証に備えた臨床実習の充実

- クリニカルクラークシップでは、協定病院を9病院から16病院に拡大、実習も7クールに拡大し、延べ300名以上の学生を派遣。
- これにより臨床実習を4学年次から実施できるようになり、国際認証受審へ向けて前進。(14,889千円)

日本医学教育評価機構(JACME)

- 正会員として入会する。平成30年度に受審予定。(1,200千円)



質の高い医療人を育成します



高度実践看護師の養成

- 大学院看護学研究科に高度実践看護師養成課程を設置。7年計画の5年目
- 平成27年10月1日付で厚生労働省から指定を受けた，看護師の特定行為に係る指定研修機関として，特定分野における高度で専門的な医療・看護実践力を有した診療看護師（NP）を育成する。（15,153千円）

高度急性期病院に相応しい体制を構築します

教員の増員

- 小児科助教，消化器外科准教授，呼吸器外科准教授及び救命救急科の助教等の増員を行い，患者増，手術件数増に対応，医療収入を増やします。（137,945千円）

助教（専修医）及び助教（医員助教）の処遇是正

- 助教，専修医の固定部分の月額給が研修医時代よりも低くなっていることを是正する。
（125,610千円）

リハビリテーションスタッフの増員

- 理学療法士，作業療法士，言語聴覚士を増員し，患者の早期回復・退院を実現，ベッドの回転を早める。（33,592千円）

臨床工学士の増員

- 手術室・EICU・SICU・GICU・腎センター・特殊撮影室の業務の活性化及び当直体制を確立する。
（4,199千円）



効率的な医療を推進します（1）



薬剤実習用電子カルテ端末の購入

- 薬剤部実習生用の電子カルテパソコン不足に対応するため15台追加（6,132千円）



コンサルタント契約

- 診療単価向上による医療収入を増やす。（5,569千円）



X線TVシステムの更新

- 画像診断センター第21撮影室の透視装置の画像が、ほかの装置に比べて劣化が著しいので更新する。（72,392千円）

効率的な医療を推進します（2）

脊椎内視鏡システム整備

- 内視鏡を用いた脊椎手術を行う病院が少なくニーズがある。金曜日手術の実施による週末の病床稼働率の向上も目指す。（11,948千円）

質量分析器の導入

- 診断の迅速化、コスト削減及び感染検査技師の業務負担を軽減する。（48,600千円）

メディカルクリニック電子カルテ追加整備

- 眼科及び耳鼻咽喉科の診療科特有の電子カルテを導入し、外来診療枠を増やす。（17,819千円）

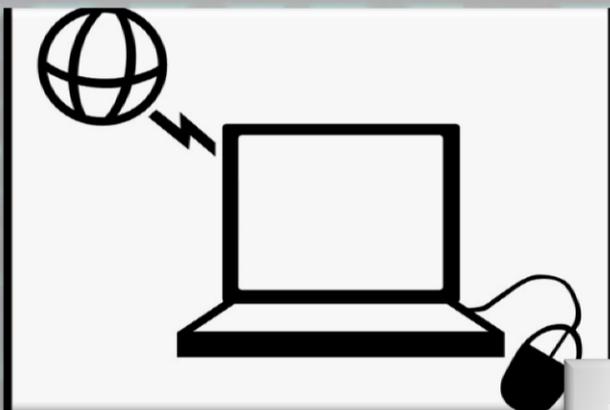


大学院学生奨学金の貸与

大学院学生(NP)奨学金制度の貸与

- 本院の看護師で本学大学院看護学研究科(高度実践)に進学し、修了後に引き続き本院に診療看護師として勤務する者に奨学金(月額20万円)を貸与する。(4,800千円)

電子カルテ端末のセキュリティを強化します



学内LAN接続用パソコンの購入

- 標的型メールに対応するため、電子カルテ端末での学内メールの利用を中止し、基幹系（電子カルテシステム）と情報系（学内LAN）を分離する運用に変更するため、中央棟内の部署で学内メールが利用できない部署に学内LAN接続用のノートパソコンを25台程度配備する。（8,975千円）

新ユニフォームを採用

調理師の被服を変更

- 患者への印象を良くして病院の評価を上げる。(2,019千円)

女性事務職員の被服を変更

- 平成13年度に導入したデザインを一新し、イメージアップに繋げる。(4,212千円)



施設設備の整備を継続して実施します

大学南側 隣接地の 取得

将来的な職員駐車場不足対策として、本学南側隣接地を取得し、利便性が高く一体管理可能な駐車場用地として取得する。

キャンパス 整備に係 る用地整 理

キャンパス内用地について、長久手市等関係機関と立石池周辺道路・赤道・青道の整理を行う。

施設設備の整備を継続して実施します

新病院棟
建設事業
の最終事
業

バスロータリー上屋新
設工事, アメニティ棟
新設工事, 立石池外
周道路拡幅事業等を
実施(2,391,025千円)



施設設備の整備を継続して実施します

バスロータリー

- スクールバス運行の名鉄バス株式会社への完全移管とともに学内バスロータリーを整備し、周辺市のコミュニティバス及び道路環境整備と合わせ、公共交通機関の結節点として「ハブ機能」強化を図ります。

アメニティ棟

- 学生，教職員の一人ひとりが，キャンパス内でより快適な時間を過ごせるよう，利便性だけでなく心温まる憩いのスペースづくりに配慮したアメニティ棟を計画。患者利用も想定し，バリアフリーにも配慮。

施設設備の整備を継続して実施します



【写真は春日井市民病院に設置のシステム】

バスロケーションシステムの整備

- バスターミナル建設に伴う、バス利用者の利便性向上のための整備(11,232千円)

バス発車のご案内		春日井市民病院発		現在時刻 13:50	
路線	先発	次発			
かすかい シティバス 1 東環状線 (左まわり)	<1番のりば> 市役所・神領駅・高蔵寺駅方面	15:17	始発発車前	15:52	
かすかい シティバス 2 東環状線 (右まわり)	<1番のりば> 坂下公民館・中央台・高蔵寺駅方面	15:14	始発発車前 福祉の里経由	15:55	
かすかい シティバス 3 西環状線 (左まわり)	<1番のりば> 西部ふれあいセンター・味美町・三子山公園・勝川方面	15:22	始発発車前	17:03	
かすかい シティバス 4 西環状線 (右まわり)	<1番のりば> 市役所・中央公民館・勝川駅方面	15:30	始発発車前	17:13	
かすかい シティバス 5 北部線	<1番のりば> 八田・八田町2丁目・市役所方面	14:32	始発発車前	16:40	
かすかい シティバス 6 北部線	<1番のりば> 西高山町・新開町・名鉄牛山駅方面	15:20	始発発車前	17:23	
かすかい シティバス 8 南部線	<1番のりば> 市役所・南部ふれあいセンター・勝川駅方面	15:24	始発発車前	17:29	
名鉄バス	勝川駅ゆき	13:53	まもなく発車 南町屋経由	14:20	
名鉄バス	春日井駅ゆき	13:55	まもなく発車 ことぶき町経由	14:25	
名鉄バス	桃花台東(ニュータウン)ゆき	14:09	始発発車前	14:39	
名鉄バス	桃花園ゆき	15:27	始発発車前	16:37	

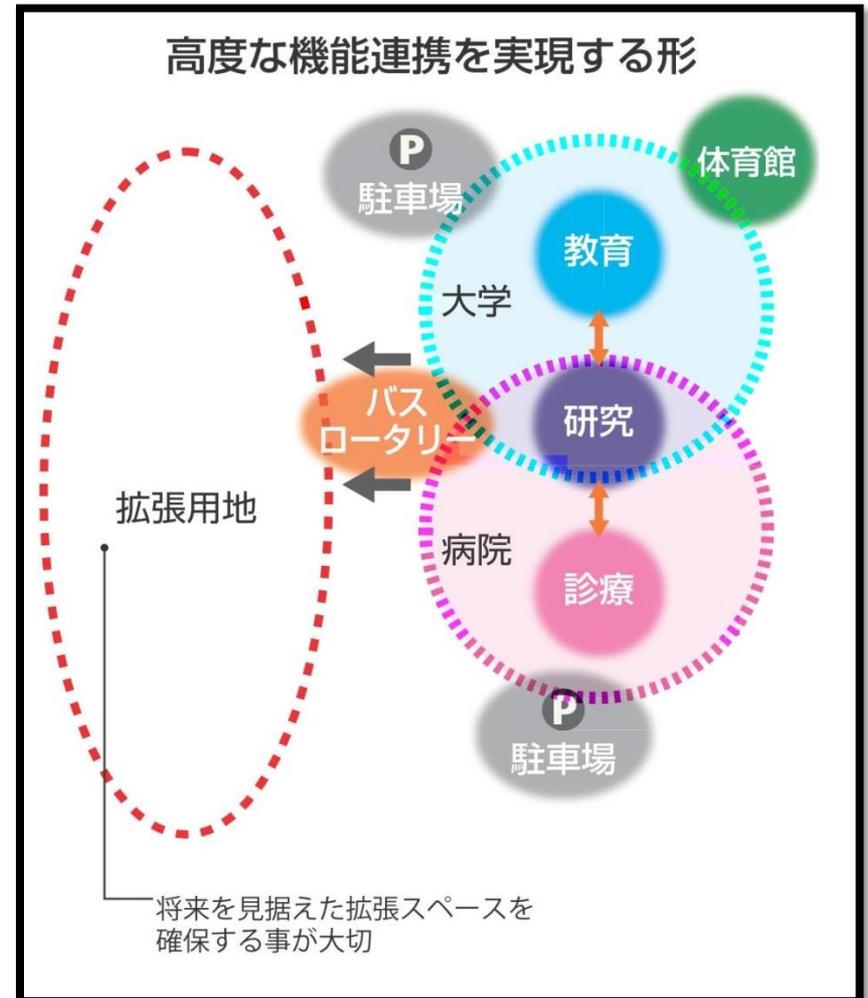
◆ *** が表示されたバスは、発車時刻前にバス停でお待ち下さい。

施設設備の整備を継続して実施します

キャンパス マスタープラン策定

- マスタープランを作成し、秩序ある施設の増築、建て替え計画を行い、敷地全体の有効的な土地利用を図ることで、利用しやすい大学病院とする。(5,400千円)

<H26~H28.5完成>



施設設備の整備を継続して実施します



特高変電所変圧
器等更新工事
(2年計画2年目)

(29,700千円)